

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 6月20日更新

事務事業名	春の夜の図書館読書探検隊実施事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	課長名 上原 哲也
体系	施策	21	生涯学習の推進		所属課	生涯学習課	担当者名 前田 美和
	基本事業	66	学習の啓発		所属班	図書館班	(内線) 2536
予算科目	会計一般	款 10	項 5	目 8	事業連番 10783	法令根拠	図書館法・文字活字文化振興法
							成果優先度評価結果 : ⑦ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	西合志図書館(以下、図書館)に、閉館後、本事業の対象者である児童を集め、ゲームや星空観望会を通じ身体的・知的な好奇心を呼び起こさせ、図書館に宿泊させる。児童に、閉館後の図書館という普段利用する図書館とは違った雰囲気や空間に味わいながら、本の世界を楽しんでもらう。「子どもの読書活動の推進に関する法律」の施行により、4月23日が「子ども読書の日」と定められたが、この「子ども読書の日」関連事業として、子どもたちに読書や図書館への興味を持ってもらおうと始めた。対象者に関して、開始後平成17年度までは、旧西合志町内の小学5・6年生20名を対象者としていたが、合併後の平成18年度は、合志市内の小学6年生20名へと変更した。他は変化は見られない。 *24年度予算から(10600子どもの読書活動推進事業)に統合した。
【業務の流れ】	市内小学校6年生への告知と募集受付。定員超過の際は、抽選にて参加者決定。事業当日は、参加者へのオリエンテーション後、親睦を深めるレクリエーション(ゲーム等)を行い、入浴、夕食を取る。その後、図書館天文台での天体観察、ボランティアによる読み聞かせを行い、館内に布団を敷き消灯まで読書。翌日は布団の片付けと朝食後、昨晚読んだ本を皆で紹介しあい終了。解散。
【主な予算費目】	時間外勤務手当
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	参加した児童からは、「色々な本が読めて楽しかった」「本を通して他校の友達ができた」等の意見があり、参加者の保護者からは、「子どもがとても喜んでいて」「今まで本や図書館にはまったく興味がなかったが、参加後は本を読み始め、一緒に図書館に行こうと言い出した」などの意見が寄せられた。抽選にもれて参加できなかった児童の保護者からは「春だけでなく秋にも行ってほしい」「抽選は公開抽選にしてもらいたい」などの意見が寄せられた。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
市内の小学6年生を対象に募集、56名の応募者があり抽選で21名を西合志図書館に宿泊させ天体観察、夜のおはなし会等を体験し就寝まで館内の蔵書に触れ、読書した。	23年度同様小学6年生20名による事業を5月に実施予定 *24年度予算から(10600子どもの読書活動推進事業)に統合した。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 開催回数	回 (10600) 子どもの読書活動推進事業に統合のため減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
読書探検隊参加者	(単位) ア: 参加人数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
読書活動や図書館への関心を引き起こし、本を通じ友人の輪を広げてもらおう機会を作ることを目的とする	(単位) ア: 参加者へのアンケートで以前より読書等に興味を持てた人数の割合 %
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
いつも図書館を利用している人のほか、いつも利用してなくイベントが楽しそうと参加した人もいたため、このイベントを通じて読書に興味をもってもらうことが事業の成果向上に繋がるため。24年度も全ての参加者に興味をもってもらうため。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	回	1	1	1	1				
② 対象指標	ア	人	21	19	21	21				
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100				
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	37	46	66	65			
	(A) 事業費計	千円	37	46	66	65				
	(A)のうち指定経費	千円	0	46	66	65				
	(A)のうち時間外、特勤	千円	37	46	66	65				
人件費	正規職員従事人数	人	4	4	6	4				
	延べ業務時間	時間	80	88	60	95				
	(B)人件費計	千円	318	362	247	383				
	トータルコスト(A)+(B)	千円	355	408	313	448				

事務事業名	春の夜の図書館読書探検隊実施事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 読書の機会を多くとり、思い出になるよう仕組みを考えているため、今年度も達成を目指したい。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 参加人数、内容ともに適正である
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似の目的 (たくさんの本に囲まれ、就寝まで存分に様々な本を楽しむことで、読書に興味を抱く) をもつ事業が他にない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要経費は、参加者の自己負担であるため
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 周知のためのポスター製作など、当日までの準備には手間はとらない。業務時間の削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 食事代や寝具代、入浴料などの費用は参加者が負担しているため
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 図書館の事業であるため

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

毎年多くの参加希望者があり、回数を増やしてほしいとの要望はあるが、他の事業との関連や受入態勢の整備等を考慮すると回数を増やすのは難しい。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>現状のまま実施</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						